

緒方議員（自民議連）

令和5年2月16日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）社会教育主事の育成と活躍の場づくりについて

社会教育主事をしっかりと育成し、充実した活動ができるよう支援することで、県民一人ひとりが生涯に渡って学び続けることができる環境を整備すべきと考えるが、現在の取組状況について教育長に伺う。

また、特に市町を巻き込む仕掛けが必要であると考え、今後の取組の見通しについて、併せて教育長に伺う。

（答）

県民の皆様の誰もが生涯にわたり、ライフステージに応じて学び続け、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現に向けましては、多様な主体と連携・協働しながら、地域の生涯学習をコーディネートする社会教育主事の果たす役割は大きく、その量的な拡大と、具体的な活躍の場の創出は、重要であると認識しております。

このため、量的な拡大に向けましては、まずは、県におきまして、資格取得のための「社会教育主事講習」の定員の拡充を図っており、今年度は昨年度を上回る34名の受講の申込みがございました。

また、社会教育主事の活躍の場の創出に向けて、令和元年度から、県と市町の社会教育主事が参画し、各市町における生涯学習の場づくりをモデル的に進めているところでございます。

このモデル事業につきましては、例えば東広島市では、社会教育主事のコーディネートにより、市内の一部の地域で開催されていた高齢者の学び直しの講座が、大学や企業、社会福祉協議会などの参画を得て、市内全域で展開されるという好事例も生まれております。

今後は、こうした取組事例を他の市町にも紹介するとともに、全ての市町において、社会教育主事の活躍による生涯学習の場づくりが進むよう、本年3月には、行政職員のほか、企業やNPOなど、業種や立場の垣根を越えた様々な人々が一堂に会するワークショップを開催し、社会教育主事を起点とした多様な主体との連携を拡大し、生涯学習推進のためのネットワーク化を図っていくこととしております。

来年度以降は、こうしたワークショップを市町と連携して県の西部・東部・北部で開催し、生涯学習の場づくりが進んでいくよう支援することにより、

県民の皆様一人一人が生涯にわたって学び続けることができる環境の充実に  
つなげてまいりたいと考えております。